群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部の目的等

●診療放射線学部の目的

対象が人間であるという観点から人間中心の新たな診療放射線学の学術的体系化と教育課程を再構築し展開することにより、従来の理工学と医学の融合からなる診療放射線学に加え、人間の尊厳や生命・医療・技術の倫理、チーム医療の機能と役割を学ぶものとし、多様な実務の遂行を可能にし、科学的根拠に裏付けられた論理的な思考及び柔軟な発想によって自ら見出した問題点を解決する意欲と行動力をもって、国際社会及び地域社会へ貢献できる人材を育成することを目的とする。

●診療放射線学部の教育目的

本学の存在する群馬県の県民をはじめ、様々な地域に生活する多様な人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献する方法を学ぶ。この過程を通して豊かな人間性を培い、変動する社会の中で個々の役割を担いながら、自然と共生し独自の文化を育み生活する人間に対する理解と関心を深める。

また、科学的根拠に裏付けられた専門的知識・技術及び高い倫理的判断力を身につけ、常に対象の人間としての尊厳を維持しながら、より質の高い放射線技術を提供する保健医療専門職としての基盤を築く。

●診療放射線学部の教育目標

群馬県内をはじめ、様々な地域における保健医療チームの一員として専門性を発揮し、責務を全うするための基礎的能力を育成する。

ア　対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づく放射線技術を展開するための基礎的能力を育成する。

イ　人間の生涯とその生活及び健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示す人材を育成する。

ウ　群馬県民をはじめ地域に生活する人々の健康維持・促進に対する強い使命感と高い倫理性を持つ人材を育成する。

エ　人種、民族、年齢、性別などの異なるあらゆる対象の福祉に貢献する診療放射線技師としての責務を自覚し、行動する人材を育成する。

オ　科学及び学術の価値を確信し、研究成果を活用した放射線技術に意義を見いだす人材を育成する。

カ　将来的には、放射線技術の実践に放射線技術学研究の成果を組み入れ、放射線技術革

新を促進するとともに、我が国の最高水準を満たし、群馬県のみならず国際的にも通用する新たな診療放射線技術の実践を創造・開発する人材を育成する。

群馬県立県民健康科学大学診療放射線学研究科の目的等

●診療放射線学研究科の目的

地域保健医療において診療放射線学に関する指導的立場に立ち、多様な実務の遂行を可能にする能力、実践的な研究を行う能力及び問題解決能力を有する高度医療専門職者、診療放射線学の学問的体系化と放射線画像検査学及び放射線治療検査学の新たな技術革新を積極的に推進できる研究者としての基礎的能力を持った人材並びに医療専門職者の養成に貢献できる教育者としての基礎的能力を持った人材を養成する。

●診療放射線学研究科博士前期課程の理念

診療放射線学は、理学・工学的知識基盤を医学における放射線画像検査学並びに放射線治療学の進歩のために高度に応用することにより、人々の健康と福祉の向上に貢献することを目的とした総合的かつ学際的な科学である。本診療放射線学研究科診療放射線学専攻（博士前期課程）の理念は、放射線画像検査学、放射線治療学等の臨床に即した学術研究を積極的に遂行することにより、個人及び集団の健康支援、疾病の予防、治療効果の向上への寄与を目指すと同時に、学際的学問領域である診療放射線学のさらなる発展に貢献することである。かかる理念に沿って、本研究科は独自の手法と創造性をもって、健康支援に結びつく診療放射線学の体系化及びこれと密接に関係する物理現象並びに生命現象の探求を行う。

●診療放射線学研究科博士前期課程の養成する人材像

(1)高度医療専門職者の養成

学部等で習得した診療放射線学に関する基礎知識の体系化並びに専門職業人として医療現場で培われた専門的知識の一層の高度化により、地域保健医療において診療放射線学に関わる指導的立場に立ち、多様な実務の遂行能力、実践的な研究、及び問題解決能力を発揮できる人材の養成を行う。

(2)研究者としての基礎的能力を持つ人材の養成

診療放射線学の基盤となる各学問体系への深い理解並びに保健医療に対する広い学識を

身につけ、診療放射線学の学問的体系化及びそれを構成する放射線画像検査学並びに放射線治療学の新たな技術革新を積極的に推進できる研究者としての基礎的能力を持った人材の養成を行う。

(3)教育者としての基礎的能力を持つ人材の養成

診療放射線学に関する高い研究能力と保健医療に関する幅広い学識を持ち、将来、大学及び大学院等において保健医療職者の養成に貢献できる教育者としての基礎的能力を持った人材の養成を行う。

本研究科では、高度に専門化する放射線画像検査学並びに放射線治療学に対応できる基本的な研究・教育能力を教授し、多様な人材を養成することにより、健康支援と疾病治療の向上に寄与する。また、地域医療水準の向上に貢献するとともに学術交流を一層推進し、学問的成果を広く発信できる人材の養成を目指す。

●診療放射線学研究科博士後期課程の理念

診療放射線学は、理学・工学的知識基盤を医学における放射線画像検査学及び放射線治療学の進歩のために高度に応用することにより、人々の健康と福祉の向上に貢献することを目的とした総合的かつ学際的な科学である。学士課程では質の高い放射線技術を提供する保健医療専門職としての基盤を築いた。修士課程では臨床に即した学術研究を積極的に遂行し、高度に専門化する放射線技術の実践者・教育者・研究者として必要な基本的教育研究能力の獲得を目指す教育を実施している。

診療放射線学研究科診療放射線学専攻博士後期課程設置の理念は、学士課程から修士課程へと続く人間性の尊重を重んじた教育を基盤として、放射線画像検査学並びに放射線治療学の臨床に即した学術研究を積極的に遂行することにより、群馬県民並びに国民（以下、群馬県民等とする）の健康支援、疾病の予防、治療効果の向上への寄与を目指すと同時に、学際的学問領域である診療放射線学のさらなる発展に貢献することである。かかる理念に沿って、本研究科博士後期課程では、健康支援に結びつく診療放射線学の体系化及びこれと密接に関係する物理現象並びに生命現象の探求を行うとともに、研究成果をチーム医療に展開できる能力を養う。

●診療放射線学研究科博士後期課程の養成する人材像

本研究科博士後期課程は、診療放射線学に資する研究成果を産出するための高度な能力を持ち、研究成果について群馬県をはじめ全国各地域の放射線診療に創造性をもって展開できる人材を養成することを目的とする。

（１）診療放射線学の研究を展開できる臨床研究者の養成

本研究科博士後期課程では修士課程で培った研究者としての基礎的能力をさらに向上させ、学際的な研究領域である診療放射線学研究を自立して展開できる能力を有する臨床研究者を育成する。診療放射線学の臨床研究は医学系臨床研究に比べて歴史が浅く、発展途上にある。将来、診療放射線学の専門性を確固なものとして築き上げることは保健医療科学研究の前進に貢献することとなる。診療放射線学における科学的根拠を構築するための研究を展開し、独創的な研究課題を設定する能力及び学際的研究・国際的研究にも寄与できる能力を養う。さらにその成果を、群馬県をはじめとする全国各地域の保健医療機関で積極的に応用できる人材を育成する。

（２）高度な教育指導力を備えた大学教員の養成

本研究科博士後期課程では修士課程で培った教育者としての基礎的能力をさらに向上させ、大学及び大学院教育を担える高度な教育能力を養う。主体的に教育プログラムを設計、展開、評価できる教育能力を高め、質の高い高等教育機関の教員を養成する。また、保健医療機関において医療従事者の資質向上のための施設内教育プログラム実施者、地域における放射線医療専門職者に対する卒後臨床教育プログラム実施者、さらに地域住民に対する放射線健康教育プログラム実施者として社会貢献できる人材を育成する。

（３）チーム医療を積極的に推進できる放射線技術部門のリーダーの養成

本研究科修士課程では学部等で修得した診療放射線学に関する基礎知識の体系化並びに高度医療専門職者として高度医療技術を医療の場に実践できる能力を養っている。博士後期課程では医療現場における諸問題を解決できる広い視野と洞察力を有し、研究心をもって問題解決に取り組み、他の医療専門職者との連携を確立することによってマネジメント能力を発揮してチーム医療を推進し、群馬県をはじめとする各地域の医療に貢献できる人材を育成する。